

愛知県教育委員会教育長 様

2021年3月29日

校則の見直し等を求める請願

住所

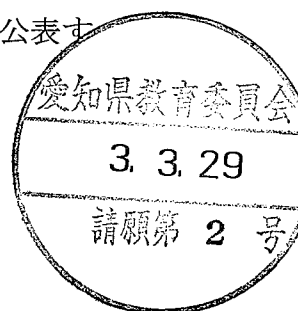
請願人 行政を考える住民の会
事務局 宮崎邦彦

1 請願の経過と趣旨

- 1 川崎 一部小学校で指導 「体操服の下は肌着禁止」波紋 (2021年3月17日中日新聞 資料1)。その後の「校則」見直し、報道等が、理不尽な校則見直しを求めるものである。
- 2 萩生田文科大臣「人権・人格を否定する校則は望ましくない」。(YAHOO!ニュース 資料2)。人権、人格、見直しを求めるものであるといえる。
- 3 2019年9月3日 閣議後 柴山文科相 児童生徒 保護者参加して絶えず見直し (資料3) (校則は生徒参加で絶えず見直す必要)。児童生徒、保護者の参加のもとに、絶えず、「校則」を見直していくということである。
- 4 しかしながら、「校則」は必要かという意見が、ある。
校則などが原因で不登校になった児童生徒の数は、合計 5572 人 (資料2)
校則を見直すということを教師が取り組むのではなく、生徒を追い込む
応になっているということの報告がなされている (資料1)
人権・人格を否定にならないということを、今後、さらに求められること
は明らかである。
中学でも広がる制服選択制 きっかけはトランスジェンダーへの配慮
寒さ対策や動きやすさでのチョイスも (資料4)
制服選択制は、県内でも、進められていると聞く。今後早急な取り組みが
なされることを求めるための請願である。
- 5 12歳の自然体決意の詰襟 (2021年3月14日 中日新聞 資料5)
「校則」問題というより、生き方を示されているともいえる。
- 6 三重アウトティング禁止条例 (2021年3月24日中日新聞 資料6) につ
いて、これからの「校則」等、他県のことということではなく、学校の取
組みが求められるということである。

2 請願事項

- 1 各学校に、児童生徒 保護者参加による、人権に根差した、校則見直しに
取り組むことを求めること。
- 2 校則見直しについては、毎年行い、教育委員会は結果集約を行い、公表す
ること。



3 各学校の校則については、各学校、ホームページ等で、公開すること。

資料1 2021年3月17日 中日新聞

資料2 YAHOO!ニュース 8枚

資料3 教育新聞

資料4 YAHOO!ニュース

資料5 2021年3月14日 中日新聞

資料6 2021年3月24日 中日新聞

口頭意見陳述希望